

## 事業者向け

## 放課後等デイサービス自己評価表

(数値は%)

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	100.0	0.0	0.0	天井が高かったり、園庭があり、子どもたちが気持ちを解放しやすい環境ではないか
	2	職員の配置数は適切であるか	16.7	83.3	0.0	法律上の基準よりも多く配置しているが、支援度が高い子どもが多いため、スタッフに余裕がない状況になりやすい
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	33.3	66.7	0.0	スロープや手すりなどはあるが、開所当時とすると子どもたちの障害程度が重症化してきており、現在の子どもたちやスタッフにとっては使いにくさもある
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参加しているか	33.3	66.7	0.0	職員会議の中で計画は作成し、振り返りもしているが、現状で精一杯の所も多く、その後の支援に十分生かされていない
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	83.3	16.7	0.0	アンケート結果を見る中で、日頃のやりとりや面談等の中で出てこない意見もあり、支援の参考にしている
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	0.0	16.7	83.3	これまでアンケートは毎年実施し、結果を職員会議等で共有、改善策を話し合ってきたが、結果そのものをどのように保護者に返せばいいかわからず、職員間の共有にとどまることもあった
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	0.0	16.7	83.3	法人として、第三者委員がいることは知っていたが、具体的に事業所に来ていただいて、評価していただく機会がなかった
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	100.0	0.0	0.0	毎月の定例学習会、地域本部研修等を実施している、また、放ディや発達に関する外部研修にも参加している
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	100.0	0.0	0.0	日々の子どもたちの様子や保護者とのやりとりを職員全体で共有し、個別支援計画を作成している。また、新規の利用児に対しては保護者に丁寧な聞き取りをし、計画につなげている
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	16.7	83.3	0.0	研修で示されたアセスメントシートを使用しているが、それだけでは子どもたちの変化を十分に評価できないので、もっと子どもたちの成長を評価しやすいツールがないか模索している
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	16.7	66.7	16.7	主に行事等に向けて、連続した活動を計画し、連携をとりながら活動することもあるが、子どもたちの状況によっては、急な活動変更もあり、その時々で決めることもある
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	100.0	0.0	0.0	屋外活動と室内活動、手指を使った遊びや体全体を使った遊びなど、前後の活動を見ながら、様々な活動を取り入れている
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	100.0	0.0	0.0	平日と休業日のタイムスケジュールがあり、子どもたちの体調を見ながら、全体活動、個別活動、日常生活習慣(食事、排泄等)を設定している。また、行事等の際には、子どもたちに事前に伝えながら、臨機応変なスケジュールをしている
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	100.0	0.0	0.0	子どもたち一人ひとりの課題を踏まえながら、計画を作成している

	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	83.3	16.7	0.0	その日の職員で活動内容や注意すべき点を共有する時間を作っているが、活動中の職員の役割分担については、不十分なところがある
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	83.3	16.7	0.0	当日は時間的に難しいので、翌日には必ず振り返りを行っているが、長期休暇中は時間の確保が難しい
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	66.7	33.3	0.0	毎日の記録は必ず書いている。個別支援計画の作成の際には用いるが、毎日の振り返りには十分生かせていない
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	100.0	0.0	0.0	モニタリングを行い、必要に応じて相談センターや学校等と連携をとりながら、次期の個別支援計画につなげている
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	100.0	0.0	0.0	ガイドラインは毎年、職員会議のなかで確認、共有する時間を作っており、ガイドラインを確認しながら支援にあたっている
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	83.3	16.7	0.0	担当者会議には、児発管もしくは所長が参加し、情報の共有に努めている
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	83.3	16.7	0.0	保護者からの情報をもとに、適宜学校と連携を取りながら、下校時刻の確認や子どもの様子など情報交換している
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	66.7	33.3	0.0	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	83.3	16.7	0.0	新1年生で入ってきた子たちは、幼稚園・保育園と児童発達支援事業所双方から情報提供を受けている、必要に応じて、当時の担任の先生とも直接連携をとっている
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	16.7	50.0	33.3	必要があれば情報提供しているが、卒業前から事業所を利用している子や実習等で利用している子どももいるため、一概ではない
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	66.7	33.3	0.0	研修には積極的に参加するようにしている
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	0.0	0.0	100.0	子どもたちの障害特性や程度により、同年代の他児との交流は難しいのが現状である
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	100.0	0.0	0.0	自立支援部会の中の子ども部会に所属し、会議等に積極的に参加している
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	66.7	33.3	0.0	保護者の迎えがあった時に、活動の様子を日々伝えている、必要に応じて、電話連絡等も行っている
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	0.0	83.3	16.7	保護者の相談に乗ったり、子どもの良いところを伝えるようにはしているが、それがペアレント・トレーニングにあたるのかはわからない

保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100.0	0.0	0.0	新規契約時を含め、毎年の契約更新時や受給者証の更新時に説明を行っている、また利用料等で質問があればその都度説明する
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	83.3	16.7	0.0	お迎え時や面談等の中で話を聞いている、必要があれば、相談センターや他機関とも連携をとるが、まずは話を聞くことが大切と考えている
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	16.7	83.3	0.0	前年度は学期ごとに事業説明会を行ったが、今年度は実施できていない
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100.0	0.0	0.0	苦情があった場合にはその都度対応している。必要に応じて、臨時の保護者会を開催することもあった
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	100.0	0.0	0.0	毎月の通信の中で、活動の様子がわかるように、画像を添付するなどの工夫をしている
	35	個人情報に十分注意しているか	100.0	0.0	0.0	保護者に書類をお渡しする際封筒に入れる、書類の順番を配慮するなど、簡単に見えないようにしている
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100.0	0.0	0.0	子ども1人一人に合わせたコミュニケーションができるよう配慮している、また、保護者の方とお話する際には必要に応じて別に機会を設定するなどしている
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	100.0	0.0	0.0	年に1回のお祭りには、地域の方や関係事業所に案内している
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	66.7	33.3	0.0	マニュアルは策定しているが、定期的に確認しながら、その都度変更していく必要がある、また、保護者に対する周知が十分ではない
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100.0	0.0	0.0	職員だけの訓練、子どもたちも一緒に行う訓練、同一敷地内の他事業所との合同訓練をしている
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	83.3	16.7	0.0	事業所内で虐待防止研修や人権研修を実施しているが、事業所外の研修に参加できない人員体制である
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	100.0	0.0	0.0	身体拘束の可能性のある子どもについては、個別支援計画を作成する段階で、保護者に説明、同意を得ている、それぞれの障害特性から身体拘束を行う必要がある状況を想定、会議等で共有し、実際行った場合には、その都度保護者に報告し、支援記録にも記録している
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	66.7	16.7	16.7	アレルギー検査結果は保護者から情報提供してもらっているが、医師の指示書に基づく対応まではできていない
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	83.3	0.0	16.7	ヒヤリハットはその日や翌日の振り返り、会議等で共有し、記録も残っているが、ヒヤリハットだけのものではない	